



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1905号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 渡辺 雅晃 幹事 黒田 一



広重版画より 三島 朝霧

第1968回例会

2013.2.28晴

司 会

川名正洋君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
指揮 瀬川幸信君

会長挨拶

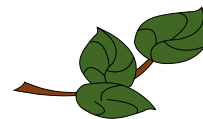
副会長 野田和秀君

今月は「世界理解月間」で、この前矢岸国際奉仕委員長から卓話がありました。それに触発されて、今日はトルコとの友好関係についての話をさせていただきます。先日、熱海のロータリアンで旅行好きの友人から3月号の雑誌「歴史街道」(PHP)に特集記事「エルトゥールル号の奇跡(時を越えた友情)」が載っているので読んだらと勧められて読んでみました。何故、トルコの人々が親日的であり、日本人の旅行先で最も人気がある国なのか納得できた気がしました。昭和60年イラン、イラク戦争の最中、死の危険の迫るテヘランに取り残された日本人215人が日本政府は救援機を出せなかったにも拘らず、トルコ航空の特別機で救出されたという史実の背後に、95年前の明治23年、トルコの軍艦エルトゥールル号が和歌山県串本の沖で台風襲われて沈没し、乗組員500人以上が犠牲になりながらも串本の人々の必死の救出作業で69名が助かり、翌年日本の軍艦で本国に送り届け、その後に義援金を募りそれも届けたというホットな史実があったということです。私を含めこの史実を知らない人も多いのではと思います。特に協調したいのは、トルコでは学校の教科書にこの史実を載せて何世代にも語り継がれて生き続けているということです。雑誌の中の黒鉄ヒロシ氏の文章の中に「・・・世界中に散らばるプラスの話を

集めて国際教科書として出版できないものか。」という一節があります。何かロータリーの奉仕事業に適用できないものとふと考えました。蛇足ながら、先日のIMでの三島北高生による米山梅吉翁の業績についての調査、発表もそうした意味から大いに評価されてよいのではと思います。

“こんにちは、ようこそ”

ビジター 紀平幸一君(伊豆中央RC)



出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	31/48	64.58%	38/48	79.17%
今回	44/52	84.62%	会員総数	54名

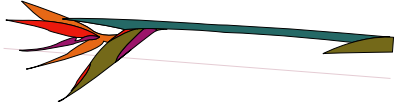
欠席者 石井(彰)君、亥角君、遠藤(正)君、勝間田君、鈴木(郁)君、諏訪部(敏)君、藤江君、森崎君

2012～2013年度
国際ロータリー会長
田中 作次

奉仕を通じて平和を

おめでとう

会員誕生日 西本君
入会記念日 諏訪部(照)君
奥様誕生日 鈴木(正)君、遠藤(眞)君



スマイルボックス

- ◆伊豆中央RC、紀平君、いつもお世話になります。
- ◆野田君、窪田さん、先日はお世話になりました。ありがとうございました。
- ◆前田(房)君、先週は誕生日、結婚祝いをありがとうございました。昨日誕生日で明治座へ観劇に行ってきました。
- ◆千葉君、①先々週に、丸々4日間ミャンマーへ行って来ました。将来が楽しみな国と国民であることが実感できたのと同時に、社会インフラと産業インフラの遅れが大きく、これからだとも思いました。②本日、Bテーブル会です。宜しくお願いします。
- ◆Gテーブル、先日、Gテーブル会を開催しました。素晴らしい庭園を見ながらの食事、有意義な時間を過ごす事ができました。ありがとうございました。
- ◆石井(良)君、こんにちは！皆さん覚えていらっしゃるか？石井良衛です。研修で長く例会を欠席しておりました。どうか今一度「あ！そんな奴もいたな」と心の片隅に置いてやって下さい。よろしく願いいたします。来月12日でケアマネの97時間の研修を終了します。さすがに疲れしました。寄る年波にはかないません。
- ◆鈴木(正)君、ポケットにチラシを入れさせていただきましたが、恒例の明治大学マンドリン倶楽部の定期演奏会のシーズンとなりました。4月27日(土)です。すばらしく感動的な演奏会です。チケットは私が持っています。よろしく願い致します。
- ◆窪田君、本日へたな卓話をします。宜しくお願いします。
- ◆花房君、早退します。

卓話

窪田のひとりごと

窪田 明君

私は昭和27年10月10日に清水市三保で生まれました。3人兄弟の次男坊です。保育園は休んでばかりいて裏の池で遊んであまり行かず、小学校では1年生の時から4年生とけんかしたり、二人用の勉強机を授業中滑り台にして先生によく外に立たされたりしていました。勉強は多少良かったようで2年生の時、出来た者から帰れるテストでは45人中常に10番以内に入っていました。しかし近所の近という字がなかなか分からず20番位になったのがやしくて何か今でも憶えています。

こんなバカ小僧ですが、5年生から入部したサッカーが自分に合ったのか一生懸命やるようになりました。中学では一年のとき先輩たちが頑張って藤枝中学が県大会で優勝しました。2年の夏にどういわけかサッカーを投げ出し、よく三保の海水浴場の女子脱衣所をのぞいたり、海水浴客を爆竹でおどかしたり、どちらかという悪い仲間と付き合っていました。そんな時キャプテンにお前がゴールキーパーをやらなければだめだと言われました。その時はキーパーに私より体の大きなやつがいたのであきらめていました。しかし、明日から弁当持ちでいくので練習に付き合えと言うと、キャプテンは2つ返事で答えてくれました。清水五中は夏休みの午前中は合同練習、午後は自由練習で、高校の先輩もよく来ていました。私は自分の中で壁を作りあきらめていました。しかしキャプテンの一言で目が覚め、秋の新人戦では私が正キーパーになりました。心理学で言うところのどこの時代と言うそうで、良くなれば良くなるが、悪くなればとことん悪くなるとの事です。それからは高校、大学、社会人でサッカーをやりエスパルスの前身の清水クラブでS60年までプレーしておりました。全国社会人大会では京都府警に2-1で負けたものの準優勝でした。

S61年1月に女房の親父の力をかり、今の谷田木材を立ち上げさせてもらいました。建具材、内装材中心に商売してきましたが、14年前頃から広葉樹のテーブル、カウンター等板材を手がけるようになりました。今では女房、息子、娘と共に木材にかかわり、職人も少しずつ増えてきました。ロータリーの精神にあるように多くの人にほどこしたほど報われると思ひ頑張っていきます。

私はサッカーでいい仲間と出会い、又、秋子といういい女房と出会い、ロータリーを通じて良い仲間たちに出会い幸せに思っております。出会いを大切に「人に求めず自分を変えよう」をテーマに頑張っていきたいと思っております。

(週報担当：西本和夫)